



できることから
はじめよう!
環境にいいこと
ひとつずつ

城陽エコパートナー通信

Vol.71

発行日：令和3年(2021年)10月20日
会員数：303人(令和3年9月30日現在)

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
(事務局) Tel(56)4061 Fax (66)6828

第20回記念 城陽市環境フォーラム開催にあたり

長引くコロナ禍のなか、市民のみなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。私たちが健やかな暮らしを営むために様々な分野で感染防止の対策がとられ、医療の分野においても関係者の必死の取り組みが続いております。感謝申し上げます。感染症で健康被害に遭われたみなさまや、事業活動に影響を受けられたみなさまには心よりお見舞い申し上げます。

城陽環境パートナーシップ会議は、平成15年10月に発足いたしました。それに先立って第1回城陽市環境フォーラムが開催され、以来市民のみなさまと環境問題を考える場として、市との共催で毎年欠かさず開催してまいりました。今回はおかげさまで記念すべき第20回となります。昨年は、コロナ禍での感染防止の観点から中止も検討しましたが、当会議の運営委員の継続すべき!との熱意により、工夫を凝らし開催いたしました。講演はインターネット(YouTube)配信で行いましたが、当時500名を超える視聴をいただきました。

今年の城陽市環境フォーラムもコロナ禍の収束が見通せないなかではありますが、記念となる第20回であります。昨年と同様、感染防止に工夫を凝らし開催いたします。当会議はこれからも社会の持続可能な発展に繋がるよう、環境活動に取り組んでまいります。みなさまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

会長 大野和宣



城陽の生き物ガイドブック

知ってる? 「城陽の宝もの～昆虫編～」
が完成しました!



2020年4月より、竹内委員を中心に「生き物ガイドブック～昆虫編～」の作成に着手しました。しかし、2020年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動ができず、2021年4月より活動を再開しました。とはいえ、2021年度も活動が制限されましたが…やっと完成しました!

掲載された昆虫はいずれも身近な昆虫で、自然豊かな城陽の田んぼや畑、山林、道路わき、公園などでみられる昆虫です。たくさんいる昆虫の中からどの昆虫を掲載するか悩みましたが、その昆虫の特徴がわかる写真を撮るのにも苦労しました。作成したガイドブックは、市内の小学生に配布するため説明文も短く、漢字にかなをふり、低学年の児童でも読めるようにしました。ガイドブック内のコラムでは、知っているようで知らない昆虫のお話を掲載しています。ガイドブックは、事務局(城陽市役所環境課)にて、11月29日(月)よりお1人様につき1冊、配布します。

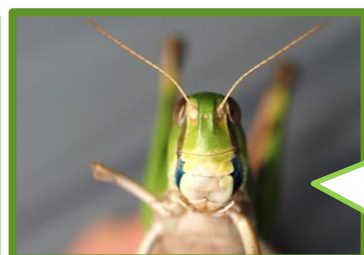
ぼくは、
ウスバキトンボ!



わたしは
ハラビロカマキリ!



ぼくは
トノサマバッタ!



ぼくはオンブバッタだよ。
このガイドブックに掲載しているぼくたちの仲間は、道端や公園や田畑でよく見かけるよ。
近くを散策するときに、一緒に持ち歩いて使ってみてね。



◆保育園児と学ぶ地球のかんきょう！

環境教育として、2012年に始まったこの環境出前講座は「年長さんになったら環境のお勉強をする」と、園児にも定着してきました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施することはできませんでしたが、今年は城陽市でも新型コロナウイルス感染が伝えられるなか、市内の8保育園で7月1日から8月6日にかけて、感染防止に配慮し、特に3密(密閉・密集・密接)を避ける状態で環境出前講座を実施しました。

講座は、午前中の約40分でしたが、園児のみなさんは学習会のはじめの挨拶から終わりの挨拶まで「もったいない」をテーマとした講座に、明るく、楽しい受け答えで取り組んでくれました。

まず初めに、スライドを使って「もったいない」を学習しました。「もったいない」という言葉を聞いたことがありますか?と聞くと「聞いたことがあるー!」「知っているよー」と、大きな声で返事があり「もったいない」のキーワードのお話を、興味深く熱心に聞き、おもちゃ・食べ物・電気・水を大切にすることを学びました。

次に、屋外でのミスト体験をしました。ミスト体験では、水をかけるとなぜ涼しくなるのかを学び、扇風機から出る霧状のミストを体験して、あらためて水はすごい!ということを実感してもらいました。園児から「涼しかった」「水を大切にします」などの勇気づけられる言葉がありました。

地球温暖化防止に向け、日々の生活のなかで子どもでもできる環境活動を教え、何かひとつでもいいから実行してもらうために、多少でも環境出前講座が役に立つことを願っています。

最後に園児たちの「ありがとうございました」の言葉を一層の励みにして、次回も内容を工夫して取り組んで参ります。

座学「もったいない」を学習



ミスト体験 水による涼しさを実感



SDGs 達成のために –身近にできる10のアクション–



SDGs とは「持続可能な開発目標」を意味する Sustainable Development Goals の略です。2015年9月、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に、2030年までに達成すべき国際目標として記載されました。「誰一人取り残さないーleave no one behindー」をスローガンに、持続可能な世界を目指す17の目標が掲げられています。

■10のアクション(衣・食・住) できることからやってみよう!!

👕 ① 着なくなった服は寄付する –お店によっては回収ボックスが設置されている–

家に、サイズが合わなくなって着ない服、流行に合わなくなった服などがあれば、捨てるのではなく寄付やリサイクルをする。
※ユニクロなどでお買い物をする人は「リサイクリングボックス」を利用しよう!

👕 ② エシカルファッションを取り入れる –人や地球にやさしい衣服を選ぶ–

エシカルファッションとは、水の量を減らして作っている、天然素材を使用している、オーガニックコットンを使用している、フェアトレード商品であるなど、素材の選定、生産、販売までのプロセスで人と環境に配慮して作られたファッションである。これからは、エシカルファッションであるかどうかとも服を選ぶ観点にいれよう。

🍴 ③ 買い物の仕方考える –食品ロスを減らす–

- ①まとも買いをしないうち→使い切れる量の食材のみ購入し、必要分を意識して買い物をすることが大切。
- ②陳列棚の手前の食材から取る→お店では、賞味期限や消費期限が短いものが前に、長いものが奥に置かれている。廃棄を減らすために、なるべく手前の商品を取ることを心掛ける。

🍴 ④ 料理の仕方考える –工夫次第で食品ロスを限りなく“ゼロ”にすることもできる–

- ①残っている食材から使う→冷蔵庫に残っている食材や賞味期限が近い商品から使うようにする。
- ②食べきれない分を使う→自分や家族が食べきれない量を計算して作ることを心掛ける。食べきれなかった場合は、冷凍するなどして保存をし、後日食べられように工夫する。

🍴 ⑤ 規格外の野菜を選ぶ –市場で決められた大きさや形、品質、色の「規格」から外れてしまった野菜–

規格外野菜として廃棄される量は、生産された野菜量の約30%~40%にもものぼる。最近では、直売所や道の駅・スーパーなどで安く売られている。美味しさや栄養は普通の野菜と変わらないので規格外野菜を選ぼう!

🍴 ⑥ ヴィーガン料理を取り入れる –ヴィーガンとは動物性の食品・製造を利用しない人のこと–

温暖化の原因とされるCO₂やメタンガスの排出は畜産業によるものも大きいため、ヴィーガンが温暖化による気候変動の防止に貢献できるとされている。菜食中心の生活をする、または1週間に1回ヴィーガン料理デーにするなど、私たちがができる範囲で「食」から地球に貢献する。

🏠 ⑦ 環境ラベルがついた商品を選択する –環境ラベルとは、環境を配慮した商品の目印–

環境ラベルの1つである「エコマーク」は原料から廃棄まで、全体を通して環境への負荷が少なく環境保全に役立つことが認定されて商品につけられる環境ラベルである。他にもグリーンマークや再生紙使用マークなどがあり、買い物をする時は環境に配慮した商品を選択する。

🏠 ⑧ 電気を自然エネルギー(再生可能エネルギー)に変える –温室効果ガスの削減、無限のエネルギー–

自然エネルギーとは、太陽光や水力・風力・地熱などを利用して生み出したエネルギーで、温室効果ガスや汚染物質の排出が少なく、エネルギー源が枯渇することがないというメリットがある。また、家庭から排出されるCO₂排出量の約50%が「電気」由来であるため、電気を自然エネルギーに変えることで50%の排出を減らすことができるので、自然エネルギーへの変更を検討してみよう。

🏠 ⑨ 3Rを意識する –できることから始める「3R」とにかく実践!–

SDGsの目標達成のためには、ごみ問題の解決が不可欠!国や自治体のごみを減らすために動いているが、私たちも1人1人が日々の生活のなかで「3R」を意識し実践すれば、ごみを減らすことができる。

Reduce(リデュース)→ごみの再生抑制。エコバッグやマイボトルの持参、詰め替え用の商品を選択して購入

Reuse(リユース)→繰り返し使用する。フリーマーケット・古本屋・リサイクルショップを利用

Recycle(リサイクル)→ごみの再生利用。ビン・缶・ペットボトル・プラマーク製品の分別、再生紙・再生プラ製品の使用

🏠 ⑩ プラスチックフリーを目指す –できる限りプラスチックを減らす–

プラスチック製品がごみとして捨てられた後、海を汚し海洋生物に悪影響を与えてしまっている。2050年には、海のプラスチックごみの量が魚の数より増えるといわれている。プラスチックを減らすために私たちができることは、ペットボトルではなくマイボトルを持つこと、レジ袋ではなくマイバックを使うこと、包装が少ない商品を選ぶことなどがある。

イベント Information

**城陽の宝もの見つけた！
ぼくのわたしの生きもの作品展
作品募集！**

城陽環境パートナーシップ会議では、子どもたちが地域の生きものを知り、生きものを観察し、学習することを目的として、「城陽の宝もの見つけた！ぼくのわたしの生きもの作品展」を開催いたします。
みなさんの夏休みの学習や家庭での自主的な研究などの成果物を展示することにより、市民のみなさんに「自然豊かなふるさと」である城陽を再確認いただければと思います。

募集内容	採集した植物や昆虫の標本、観察記録など令和3年4月～11月の間に作成したもの
応募期間	令和3年9月1日(水)～11月30日(火)
応募対象者	城陽市に在住の小学生
応募方法	城陽環境パートナーシップ会議事務局(城陽市環境課内)にある応募用紙に必要事項を記入し、事務局(城陽市環境課内)へ作品とともに提出してください。※作品の返却は、展示期間終了後となります
展示について	展示期間 令和3年12月10日(金)～14日(火) 展示場所 城陽市立図書館(城陽市寺田今堀1 文化パーク城陽内)※出展参加賞として、マイボトル(350ml)を進呈いたします



第20回記念 城陽市環境フォーラムを開催します！ —当日、YouTube 配信実施—

城陽市環境フォーラム当日は、城陽市公式チャンネル(<https://www.youtube.com/user/JoyoMovieGallery>)にて14時より動画をYouTube 配信させていただきますので、ご視聴のほどよろしくお願いいたします。
※第20回記念城陽市環境フォーラムの動画配信期間は、11月27日(土)～12月28日(火)までです。

開催日時	2021年11月27日(土) 14時～16時20分		
テーマ	カーボンニュートラルと私たちの暮らし		
開催内容	14:00	城陽市環境フォーラム開催 ・市長挨拶 ・会長挨拶	
	14:15	第1部 講演会	講師 京都大学大学院地球環境学堂環境教育論 准教授 浅利美鈴氏 テーマ 「ごみ」から始める暮らしの革命
	15:20	第2部 講演会	講師 京都工芸繊維大学教授 理学博士 伊藤雅信氏 テーマ 「クワコに学ぶ城陽の自然環境」
	16:20	環境フォーラム終了	

日本観光ゴルフ株式会社
城陽カントリー倶楽部
〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山1-46

株式会社 城南工建
〒610-0113 京都府城陽市中芦原27番地の1
TEL 0774-53-3939 FAX 0774-55-1172

株式会社 ミズホ
砥石で、未来を磨いてゆく
〒610-0121 京都府城陽市寺田袋尻82番地

東城陽ゴルフ倶楽部
〒610-0113 京都府城陽市寺田奥山1-48
TEL 0774-52-1161

次の団体・個人から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。
近畿砂利協同組合、京都城陽ロータリークラブ、サントリープロダクツ(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽市、城陽商工会議所、城陽金融会、星和電機(株)、(株)玉井開発、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、東城陽ゴルフ倶楽部、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光 ※令和3年9月末現在(五十音順・敬称略)